

膠原病の患者様に行うニューモシチス肺炎の予防法の 効果と安全性に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：平成 29 年 11 月 13 日 ～ 平成 30 年 12 月 31 日

〔研究課題〕 膠原病患者におけるニューモシチス肺炎予防の薬剤使用状況と有効性・安全性の解析

〔研究目的〕 ニューモシチス肺炎の予防には、一般には ST 合剤が使われますが、最近ではペンタミジンの吸入、アトバコンの内服も認められるようになりました。本研究では、膠原病疾患でステロイド使用の患者におけるニューモシチス肺炎予防の薬剤使用状況を明らかにし、また予防の各薬剤の効果と安全性を調べます。

〔研究意義〕 ST 合剤は副作用が起こることがあるため、その頻度、起きる状況を明らかにすることで、他の予防薬に切り替えて安全かつ効果的に予防が行えるようになります。

〔対象・研究方法〕 当院内科に膠原病で入院し、プレドニゾロンによる治療開始後にニューモシチス肺炎の予防を開始した成人の患者様を対象とします。予防薬の種類、使用した期間、中止した理由、中止時の血液検査などについてカルテを参照して調べます。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部附属病院

〔個人情報の取り扱い〕 研究中は、得た情報は本人とわからないように匿名化し、データは、それぞれパスワードを設定したファイルに記録し、研究室に保存して、鍵の掛かるキャビネットに保管します。研究終了後は保管した情報は破棄します。

〔その他〕 研究に際して、患者様の負担になることはありません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者： 北沢貴利・内科学講座・講師

研究分担者： 妹尾和憲・内科学講座・助教、吉野友祐・内科学講座・講師、浅子来美・内科学講座・助教、菊地弘敏・内科学講座・病院准教授、河野肇・内科学講座・教授、太田康男・内科学講座・教授

住所： 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL: 03-3964-1211(代表) [内線 7645]